

# J A 自己改革推進レポートについて

令和3年2月22日  
J A 鳥取県中央会

## 1. J A 自己改革実践状況

### (1) J A 鳥取いなばの取り組み

#### ① とんど祭り

郡家支店は1月15日、しめ縄やお守り、だるま等を豪快に焼く「とんど祭り」を同J A支店駐車場で開いた。

満月と神聖な火による浄化の力で集落の人々の1年間の災いを払い、豊作や商売繁盛、家内安全、無病息災、子孫繁栄を願う伝統的な祭りで、支店職員11人が参加した。しめ縄など正月飾りやスルメ、餅、みかんを一箇所に積み上げて燃やし、本年の無病息災・五穀豊穰を祈り厄除けを行った。

参加した職員は「昔ながらの風習を職員同士で行いモチベーションアップに繋がった。今年一年笑顔で元気に過ごしたい」と話した。



#### ② 農機購入者安全研修会

鳥取地区農機センターは1月28日、農機購入者安全研修会を鳥取市のJ A本店で開き、農機購入者やJ A職員ら約40人が参加した。

研修会では県内で発生した事故事例を踏まえたトラクターやコンバインなどの安全作業の注意点を伝え、日常点検・安全確認の徹底が事故防止につながることを説明した。また、取り扱い説明書を読むなど、操作の基礎を守ることが重要だと強調した。さらに、新機種の紹介や重量を軽減させるアシストスーツを実演でPRするなど、充実した研修会となった。



#### ③ 白ネギ播種作業

育苗施設で、管内の生産者に供給する令和3年産の白ネギ育苗が1月末から始まった。生産者からの苗注文を受け、J A職員らが育苗箱に専用の紙ポットをセットして播種し、品質の良い苗づくりに取り組んでいる。

生産拡大を進めていく中で高まる育苗需要に対応するため、管内の育苗施設をフル稼働して約10,000箱の育苗作業にあたる。令和3年産は、管内生産者が主に生産する秋冬作型のほか、春や夏の作型を育苗する計画である。



#### ④ 共済推進決起大会

2月3日、令和3年度共済推進総決起大会を鳥取市で開いた。役職員約100人が参加し、事業収益の確保やコンプライアンスの徹底など今年度の取り組み方針を決議した。

J A鳥取いなばの影井組合長は「コロナ禍などで厳しい環境ではあるが、組合員・利用者に寄り沿い、全支店が早期目標達成に向け一丸となり推進活動に取り組もう」と激励した。



### (2) J A鳥取中央の取り組み

#### ① 丑年 新年プレゼントキャンペーンを実施！

コロナ禍の畜産農家支援として、鳥取東伯ミートの商品券5,000円分を5名様に贈るキャンペーンを実施した。

鳥取県中部のケーブルテレビで1月16日以降に放送された「中部農業みらい宣言」の中で発表するキーワードなどを1月31日までに応募すると商品券が当たるというもので、美味しいお肉を食べて畜産農家を応援するという主旨で企画した。(応募総数：20件)



#### ② 倉吉・関金白葱生産部が白ネギの雪害規格出荷説明会を実施！

倉吉・関金白葱生産部は1月15日、倉吉市で雪害規格適用による出荷説明会を開き、生産者、J A営農指導員らが参加した。

12月中旬と年末年始の降雪により白ネギに葉折れ・曲がりの被害が大きくなったことを受け、雪害規格を設定し適用することを決定した。

説明会ではJ A営農指導員が雪害規格、特別規格について説明した後、生産者は事前に持ち込まれた雪害にあった白ネギの状態を確認した。

生産者からは「雪害規格の適用で出荷意欲が湧いてきた。一本でも多く出荷したい」といった声があがっていた。

中央営農センターの中尾営農指導員は「一本でも多くネギを出荷してもらい、不足することなく消費者にネギを届けたい。情報交換もして高値販売を目指したい」と話した。



### ③ 三朝神倉大豆の節分イベントを実施！

三朝町特産の「三朝神倉大豆」の新たな加工品の商品化に向けて「節分豆 無コロナ息災」を製造した。

2月1日には同町の各保育園や神倉商品を取り扱う店舗に無料配布し、「三朝神倉大豆」の認知度向上と同大豆を使用した大豆製品「神シリーズ」の消費拡大を狙った。

「節分豆 無コロナ息災」は同町の北野神社でコロナの終息を祈った祈念大豆で、味付け無しの炒り豆と、砂糖コーティングを施した二種類を作った。100g入りをそれぞれ250袋ずつ製造し各施設へ提供した。

この日は賀茂保育園と、竹田保育園で節分イベントを実施した。賀茂保育園では手作りの升を使用し年の数の豆を食べ、竹田保育園では園児がホットプレートで炒り豆作りを体験した後、外に向かって豆まきを行った。

直販課の杉原課長は「三朝町にある特産の神倉大豆をまずは地元の方にPRするとともに、コロナ退散を祈願した豆で元気になってほしい。また、保育園の保護者向けに三朝神倉大豆に関するアンケートを実施し、今後の製品作りに活かしていく」と話した。



### (3) JA鳥取西部の取り組み

#### ① 「1本でも多く出荷を」白ネギ雪害出荷規格を適用

年未年始の降雪・積雪により管内特産の白ネギに葉折れや葉割れなどの被害が発生したことを受け、JA鳥取西部白ネギ部会は1月4日、緊急の運営委員会を開いた。

運営委員会では、被害が出た白ネギに雪害出荷規格を適用し、「雪かぶりネギ」として1月6日から出荷することを決めた。



#### ② 役員が担い手を訪問

JA鳥取西部は、JA自己改革の一環として常勤理事が地域の担い手農家を訪問し、地域農業の現状や今後の展望、JAの役割などについて意見交換をする取り組みを行っている。

1月12日には、植田専務が伯耆町と南部町の法人や個人など5カ所を訪問し、農業経営や地域農業、JAなどについて率直な意見交換を行った。

1月14日には、谷本組合長が米子市の担い手農家5戸を訪問し、米の政策や鳥取和牛のブランド化、JAの取り組みなどについて意見や要望などを聴き、牛舎を見学した。



### ③ 学校給食週間に出前授業。食と農のかかわりを考える

J A鳥取西部は1月26日、全国学校給食週間に合わせ、児童に食の大切さについて学んでもらうことを目的に、伯耆町立岸本小学校で食育出前授業を行った。

授業では5年生52人に対し日本の食料自給率や農業の現状、農地の役割などを分かりやすく解説した。



### (4) J A全農とっりの取り組み

#### 中央物流センター本格稼働

中央物流センターは令和元年10月に稼働し、令和2年7月よりJ A鳥取中央管内すべての地域を対象に稼働を始め、春の農作業繁忙期を前にピッキング作業・配送のピークを迎えている。

当センターは肥料の在庫管理、農薬の合理的な配送計画により戸配送、集落配送に対応している。物流の合理化による生産資材価格の抑制と合わせて、生産資材の安定供給と組合員のさらなる利便性向上を目指し取り組んでいる。



本会職員並びに業務委託先によるピッキング作業の様子

### (5) J A鳥取信連の取り組み

#### わくわくよりぞうポイントキャンペーン第3期当選者決定！

“わくわくよりぞうポイントキャンペーン”の最終となる第3期抽選会が1月20日、3J Aの本所（店）で実施された。

応募総数は、J A鳥取いなばが1,652枚、J A鳥取中央が2,525枚、J A鳥取西部が2,993枚の合計7,170枚であった。令和2年4月から12月の9ヵ月間、幅広い世代にJ Aの魅力ある商品をPRし、J Aを身近に感じていただけるキャンペーンとなった。

各J Aの抽選会場では、第1期から集まった抽選箱いっぱいの応募用紙に、利用者に愛され支えられていること、キャンペーンにおいて各J Aの職員が努力したことを改めて実感できる抽選会となった。



## (6) JA共済連鳥取の取り組み

### 社会保障制度研修会について

1月22日、LA（ライフアドバイザー）を対象に、ひと保障を提案するうえで必要な知識を習得するため、「社会保障制度研修会」を開催した。

現在、社会情勢は「少子高齢化」「人生100年時代」等、数十年前に比べると大きく変化している。組合員・利用者の必要とする保障内容も、従来の入院・死亡を保障するものだけでなく、退院後の治療費、介護・身体障害状態を保障するもの等、多種多様なものとなっている（下図参照）。そのために必要な社会保障制度に関する基礎知識と、共済の活用ポイントを学習した。

【ひと保障あんしんチェックシート】

ひと保障あんしんチェックシート ～生活にひそむリスクを一緒に考えませんか？～		お名前	作成日	
		様	年	月 日
リスク	病気・ケガ がん	重い生活習慣病 三大疾病	身体障害状態 介護状態	死 亡
かかる費用	入院・手術費用 先進医療 	通院費・リハビリ費用 自宅療養費 	生活費の増加・収入の減少 リハビリ費用・介護費用 	残された家族の生活費 葬儀費用・相続税（争族） 
ご加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 医療共済 <input checked="" type="checkbox"/> がん共済 <input type="checkbox"/> 他社加入	<input checked="" type="checkbox"/> 身近なリスクに そと共済 <input type="checkbox"/> 他社加入	<input checked="" type="checkbox"/> 働くわたしの そと共済 <input checked="" type="checkbox"/> 介護共済 <input type="checkbox"/> 他社加入	<input checked="" type="checkbox"/> 終身共済 <input checked="" type="checkbox"/> 定期生命共済 <input type="checkbox"/> 他社加入

※令和2年4月現在の法令にもとづき記載しています。将来の取扱いを保証するものではありませんので、ご了承ください。また、令和2年4月時点の仕態みを記載しています。

研修は外部講師によるものであったが、新型コロナウイルスの影響もあり、今回はLAの使用するLablet's（携帯用端末）と講師のパソコンを繋いだ「オンライン研修」により実施した。受講したLAからは「制度の説明だけでなく、実践で使える言い回しなどもあり、参考になった」と好評だった。

今後も「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じ、組合員・利用者により安心と満足を提供できるよう、知識・提案力向上に努めていく。

以上